

編輯だより

○八月十六日に簡閲點呼で招集される事になつてゐたので、何でも彼でも其日迄に編輯事務を片づけ、田舎の海岸で甲羅を乾して來る豫定をたて、さて炎熱身を焼く——今年の夏はそれほどでもなかつたが——中を驅け廻つたが、どなたも夏は少し休み度いと仰る。

○氣ばかり焦燥つて、汗ばかり流れて、とゞ十五日迄には何もまとまらない。と云つて點呼は延期と云ふ譯にも行かないので、十五日の夜行で歸郷する。十六日に點呼を済まして十七日から又活動を繼續すれば例月並には行く筈だ。

○十六日郷里の隣村の小學校へ午前七時に集合。所謂非常時點呼をうける恐ろしくやかましい執行官殿だつた。新調の白服で、砂ぼこりの校庭へ、折式伏せ！と來た時には、支那の兵隊さんの前でも餘り偉張れぬぐらゐの行動しかとれなかつた。正直の話
○さて非常時局と在郷軍人の覺悟に就て一わたり訓示が済んで一時半點呼が解散となる。久し振りで昔の友人達と顔を合せたので晝飯でもやり乍ら語り合はうと町に出て見ると驚いた。町は大變さびれてゐる。一寸腰を下して飯を喰ふ家もないと云つて好い。やつと見つけたのが冬は肉屋、夏は水屋と云つた寸法の小店だ。

『まだ一人かれ』

『うむ一人だ、なあにそれも先々月出來たばかりさ』
獨身かと聞いたつもりの私の間に對して友人は子供

のことを答へるのだつた。

藪が安くて困ること、飯米を持つてゐる百姓のゐないこと、米が高いこと、税金をとられ過ぎること、救濟工事で三ヶ月に九圓五十錢働いたこと、何某が北海道へ移住したこと、何某が借金を残して行方不明になつたこと、何某の母親が薬も服まずに死んだこと等々々。

○此時飲んだものがいけなかつたか、その夜は腹部大異状と來た。終列車で歸京する筈のが翌朝となり翌朝が又夕方となる。結局十八日の朝郷里を發つて東京に戻つて見れば、何と此日は土曜日。

月曜から廿日鼠の如くかけ廻つて本橋梁特輯號をつくる。20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. と來る處まで來てしまつた(R)

×

○本號は御覽の通り橋梁特輯號とした。酷熱の砌私共の意圖する處を諒され御執筆下さつた諸先輩に對して深く感謝の意を表する。尙本號では必ずしも大工事を主眼とせず、各府縣施工の中流程度の工事を集めて見た。けだし大方の参考に資するところ極めて尠くないの思ふからである。

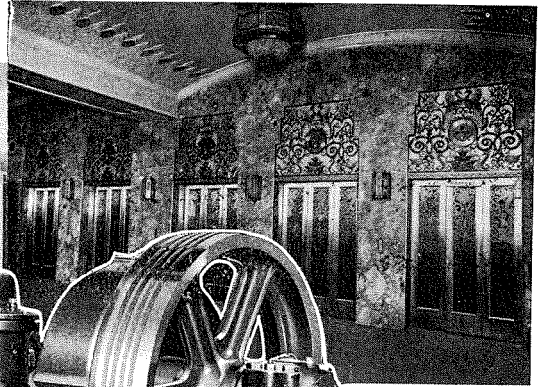
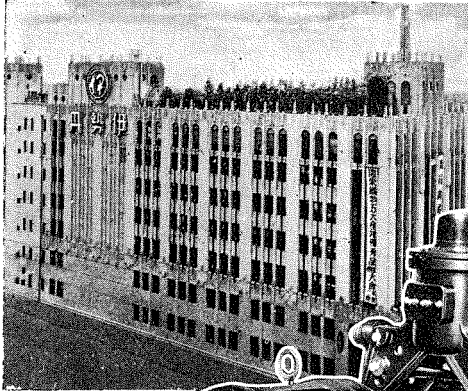
○埼玉縣の八木技師、山口縣の關谷土木課長其他二三の寄稿は締切後の到着で残念乍ら次號に割愛するの止むなき事情となつた。記して前記諸先生に了解を求めて置く。

土木建築工事畫報 第十卷 第九號		定價七十錢 (稅二錢)	毎月一回一日發行 二ヶ年十二冊發行
購 讀 料 壹 部 七十錢 稅二錢 參ヶ月 貳 圓 稅 共 六ヶ月 四 圓 同 一ヶ年 八 圓 同 外國一部 七十八錢 稅 共	昭和九年 八月廿六日印刷納本 昭和九年 九月 一日發行 編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豊島區長崎仲町二丁目三六二九 印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	廣 告 料 本誌に廣告掲載御希望の向は御一報次第社員參上御相談に應ず。	
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂上の事、但し六ヶ月以込の申込は御希望により集金郵便を差出します。	發行所 工事畫報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話 丸ノ内二六三三番 電 振 東京七〇貳六五番	大 賣 捌 所 東京堂・東海堂 大東館・北隆館	

三菱エレベーター

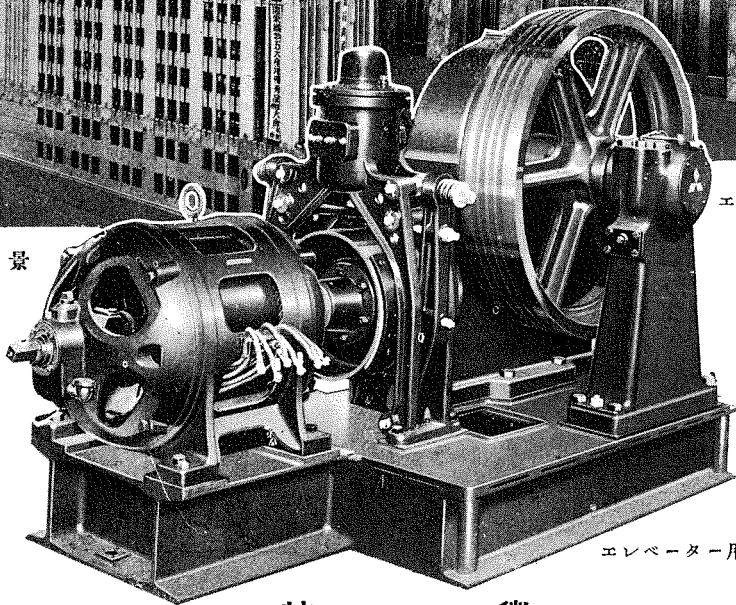
ウェスチング型

三菱エレベーターナ設置セラレタ
新宿伊勢丹百貨店



エレベーター入口前

全 景

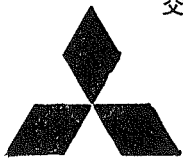


エレベーター用捲揚機

特 徴

可變電壓器：コンパクトにして性能優秀純屈的操作既に定評あり。

交 線 式：制御装置を直機操作とした、最新型、舊來の方式に一新生命を開きたるものなり。



一手販賣店

三菱商事株式會社

三菱電機株式會社

本 店 東京市丸ノ内
神戸製作所 神戸市兵庫區和田崎町

名古屋製作所 名古屋市東區矢田町
長崎製作所 長崎市平戸小屋町

鐵道省熱海建設事務所編

丹那トンネルの話

定價 1.00
送料 .10

三島から熱海へ、熱海から三島へ、星霜實に 16 年我丹那トンネルは遂に貫通した。本書は單なる學術的報告書ではない。工事にまつはる幾多の挿話、笑話、苦話、悲話を現實に見、聞き、體驗した尊い記録である。此の書の持つ特異な感觸と魅惑は所謂工事誌と云つた様な専門分野から抜け出して、全く工事關係者が腕と腕を組んで自然の壓倒力を科學的に克服して行つた其の人間の吹息が紙背に迫真してゐる處にある。

「人は變るが仕事は續く」げに轉體一如の山なす話が、現場術語と専門語の丸出して語られて居ながら、少しも拮据でなく讀み進むことが出来る。全 28 項、大別すると土と技との闘ひ、水と技との闘ひ、技を貫く確たるエスプリ、技の準備と經驗等が一つの話を中心に縦横に發展して居るのだ。蓋し爆彈三勇士譚の舞臺は滿洲許りではない。この工事關係者の多くは曠野でなく、營々として暗鬱な地下を舞臺として勇士の魂をリレーし續けたのだ。眞に何人も感激なしには讀了し能はぬであらう。

工學博士 宮本武之輔著

技術・社會・人生

菊判美裝
定價 金壹圓五拾錢
送料 拾 四 錢

著者の才筆は定評がある。本書標題が著者の人格の如く一見素朴の感じを與へるけれど、一度内容を開し來るならば、其の評論の雄渾なる、紀行の情趣豊かなる、隨筆の清新なる、誠に百華繚亂卷を覆ふ能はざらしめるであらう。必讀せられよ、夏日消閑の侶としては其の收穫の大なるに一驚せられるであらうことを保證する。

内 容 一 般

論 說

技術政策の眞諦を思ふ—溪谷の黎明—技術家結束の機運—人類生活の基調—唯物史觀の檢討と人道主義—勞働全收權の道義性—歐米に於ける技術者組合運動—直轄工事と請負工事の得失を論ず—土木行政統一論

時 評

技術と勞働—卷に立ちて—大正十四年を顧みて—ジョン・ターナー君を迎ふ—勞働の權利と義務—政治行働の基調—産業合理化問題私見—失業救済と土木事業—滿蒙問題と技術家—時局匡

救土木事業に就て

巴里通信

佛蘭西へ—巴里通信—巴里夜話—佛國の死活—北佛荒廢地方—佛國及佛國人

伯林通信

伯林春秋—ドクター・コンラデー—獨逸の子供ら—南獨紀行—ラインの守り—獨逸及び獨逸人

隨 想

日本工人俱樂部—狂婦人—五月雨の頃—夏飛脚—滿洲往來—錦絲町物語—補修工事の竣功に際して—銅像物語— $X + Y = A$ の解法

發 行 所 東 京 ・ 銀 座 七 丁 目 三 工 業 雜 誌 社 振 替 東 京 壹 四 六 五 〇 番

コンクリートミキサーの 改良に関する懸賞募集に就て

コンクリートの構造物は今や現代文明の最大部分を構成しつつある。而して其の主要成分たるセメントの製造法の際々たる發達に顧みてコンクリートの施工法の尙頗る不振なるを嘆ぜざるを得ぬ。

米國のアブラムス氏が五萬回のテストに依り斷定したる結果は、混凝土の強度は水セメント比に依りて左右される事を、今日世界の技術界に確認せしめてある。而してアブラムス氏は現場に於ける混凝土強度の均一性を確保する方法としてスランプテストと云ふ簡便なる方法を發表してくれた。現場工事の設備は簡單を尊重する。而して今日此のスランプテストが世界各國のコンクリート現場工事を如何に確實なものになしつつあるかは言ふまでもない。

然し我々はスランプテストだけで満足すべきではない、一步進めて從來のコンクリート・ミキサーに就いての経験を顧み度いのである。一枚の鐵板の上にシヨベルを以て押し返す手練の方法でも叮嚀にやりさへすれば、不完全な機械練に勝るのである。

從來のミキサーに就いて言へばドラムの型式に於て、ドラム内の双型に於て、廻轉キヤーに就て混合材の入れ方に於て、コンクリートの出し方に於て、ハンドルに於て其何れを改良し、其何れを合理化したるを聞かない。實に舊態依然たりである。

所謂舶來品のミキサーは國產品の御手本となるもの甚だ多いのであるが、今日に於ては我々は日本の現場工事に於て諸君の尊き経験よりミキサー改良の意見を求め、以て一般コンクリート工事實施の参考に資したいと思ふものである。

次の要項に依り一般経験家の大に應募せられん事を希望するものである。

昭和九年八月

東京丸ノ内三ノ六

工事畫報社 工事研究會

ミキサー改良に関する懸賞應募要項

〔注意〕 應募者はミキサー使用の経験者にて、次の第1以下任意の項に就いて、略圖及説明を記入する事。用紙及圖法は自由。但し成るべく簡單明瞭なる事。

〔締切〕 昭和九年十一月五日

〔發表〕 昭和十年一月號工事畫報誌上

〔入選〕 工事畫報社工事研究會に於て審査し、優良なる考案者三名に P. E. メダル向上牌及び金拾圓宛を贈呈す。

ミキサー改良點

1. ミキサー（何型式）の何の部分が一番早く破損したるか。
2. ミキサー（何型式）の何の部分が一番早く故障を生じたるか。
3. ミキサー（何型式）の何の部分を改良したら良いか。
4. ミキサー（何型式）の取扱上第一番に注意すべき點は何か。
5. 混凝土の合理的施工に最も必要なるミキサーとしての具備すべき條件は何々であるか。
6. ミキサーの動力は如何なる種類が良いか。

以上

省各、部文、林農、信遞、道鐵、務内、藏大、軍海陸

用 使 御 廳 縣 府 道

明證御廳官諸他其所研究房官臣大省道鐵、所驗試業工各道海北、鮮朝、阪大

許 特

度 十 五 下 零 トンメセ 劑 寒 耐

外内間日十し加増を度強のトンメセ、し止防を結凍の水和混のトーリクンコ迄度十五下零氏攝
りな劑想理の工施寒嚴、りあ用作結急る得しづはを粹假てに

ス タ ー ロ ク ッ キ ク トンメセ 劑 結 急

てめ薄に水の倍拾貳、しなてじ斷用作副にトンメセち即、りな劑結急の性酸珪るごま含を達曹
し可るざ得め求に他は品濟經き如の劑本、りな著顯力効も

(狀 粉) ス タ ー ロ トンメセ 劑 水 防

力偉水防、ずせれなば肌てしに全完着接のね重り塗ち即、ずせ撥反を水に故がるごま含を肪脂
りな限無久永力効へ與を用作強補にトンメセ又、し絶冠に品他

(狀 液) ー ヒ ル エ トンメセ 劑 水 防

乃倍拾六はにトーリクンコに水の倍拾五はにルタルモ、全完着密ね重り塗様同とスクーロ記上
りな劑水防級高るす用使用しと水和混め薄に水の倍拾七至

度 十 五 下 零 狀 液 壁 土 劑 寒 耐

の倍拾八は(べか眞)壁ろど、りな劑妙るす證保を工施で氣平もで中寒がり塗壁の他其壁ろど
い良とる捏でれ之てい溶に倍十三塗上、倍拾五塗中、に水

呈 進 グ ロ タ カ

年 三 十 正 大 業 創

元 賣 發 造 製

會 商 川 豐

番 七 九 七 話 電 — 地 番 一 町 屋 紺 市 岡 盛 — 店 本

五ノ三町場茅區橋本市京東	代	目丁七西條一南市幌札	方 地 所 業 營
店 商 三 修 山 外	理	店 支 幌 札 會 商 川 豐	
番 六 六 二 (66) 町 場 茅 話 電	店	番 六 二 〇 四 幌 札 話 電	

低熱ポルトランドセメント發賣!!!

淺野マスコン・セメント

ASANO MASCON CEMENT



- 特色**
- (一) 比重重く、凝結遅きこと。
 - (二) **コンクリート**の容重重く、密度大なること。
 - (三) 粉末の表面積大にして、**コンクリート**は**プラスチック**且つ**ウオーカブル**なること。
 - (四) 發熱少く、**コンクリート**の溫度上昇少きこと。
 - (五) 強度發熱比高く、且つ強度増進率大なること。
 - (六) 空中收縮少く、且つ耐侵蝕性なること。

用途 一般に大塊**コンクリート**工事 (Mass Concrete) にて、容積變化又は不均齊應力の發生を厭ふもの。(例、重力堤堰、砲壘、機械基礎其他早期高強度を要求せざるもの、終局の硬化の低熱たるを要求する工事)

淺野マスコン・セメントと米國 Boulder dam 用低熱セメントとの試験比較(18°C)

種類	比重	粉末程度 cm ² /g	凝 結		水和熱II, Cal/g		純セメント 中收縮率 /10	
			凝 始	凝 終	7 日	28日	7 日	28日
淺野マスコン・セメント	3.23	1430	522	714	53.9	75.0	6.1	7.8
米國低熱セメント	3.22	1330	317	525	52.3	72.3	6.9	10.0

	水量(%)	(1:3)モルタル強度 (kg/cm ²)					強度發熱比	
		1 日	2 日	3 日	7 日	28日	7 日	28日
		耐 壓 力 (C)					C/H	
淺野マスコン・セメント	7.0	81	196	303	434	659	8.1	8.8
米國低熱セメント	6.5	94	164	226	345	487	6.6	6.7
		抗 張 力 (T)					T/H	
淺野マスコン・セメント	6.8	11.5	21.8	31.1	35.1	41.3	6.5	5.5
米國低熱セメント	6.3	13.0	18.6	22.5	27.4	36.4	5.2	5.0

淺野セメント株式會社

東京丸之内海上ビル新館

THE "KOJI GAHO"

AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW

VOL. 10, NO. 9

Published Monthly by the Koji-Gaho-sha
Tokyo Japan

日立工事用諸機械

ボ ン フ
送 風 機
壓 縮 機
起 重 イ ス ト
ホ 揚 機
捲



定 價 金 七 拾 錢 送 料 二 錢

日立製作所

東京・丸の内

日立製造

大正十四年七月二十八日
昭和九年八月二十六日
發行
第三種郵便物認可
印刷
（毎月一回發行）

土木 建築 工事畫報 第十卷 第九號